

## 子や孫の心に残る記念碑

### 広島県北広島町・若林開拓

広島県北広島町の若林開拓は、県北西部の山地で広島市の北側に位置し、標高は400m近い高地にある。

また、島根県との県境には1000m級の山々が連なり、降雪量も多く、近くにスキー場が集積している。

46年に大陸からの引き揚げ者を含む31名が入植した。

しかし、農業の経験が無く、草の刈り方も知らない人もおり、仲間の人たちに教えてもらいながらの一鍬一鍬となった。

とにかく食料の自給が先決なので、雨降りには湿地を掘り起こし、腰まで浸かって田を起こした。全て人の手作業なので、長い年月を要した。ところが、苦勞して作った田も、用水不足で大雨が降らないと田植えができない。主食を自給するまでには長い年月を要した。

一方、野菜で収入を得ようと・ダイコン・ハクサイを育てたが、土地が痩せているのと、肥料が充分でなかったため、思うように収入が上がらず、前途多難であった。

野菜・モモ・葉タバコなど次々に取り組んだが、決定的な作物とはならず、酪農に落ち着く家ができた。

広島県戦後開拓史（広島県開拓農協編）の中で、若林開拓の女性の方が「何よりも辛かったのは、開拓に土地を取られた地主が開拓の子どもたちに、あんた達はひどいことをした、と再三再四言われたこと」として「でも、そんな事に気を取られては作業ができない。何事にも目をつむり、ただ生きるために一生懸命だった」と語っている。

85年、入植40周年を記念して記念碑が建てられ、入植者31名の名が刻まれた。この時は当時の入植者はすでに半数となっていた。

同開拓史の中で女性が「子供が後を継がないことを悲しまないようにしている。自分たちの汗と涙を吸った土地が、<sup>げんぜん</sup>厳然としてここにあるのだから。この石碑が子や孫にとって故郷の証しとしていつまでも心に残るよう願っています」と語っていた。

## 広島県北広島町・若林開拓

- ①調査日 2016年12月6日
- ②所在 山県郡北広島町阿坂
- ③地区の沿革
- ④設置年月日 昭和60年11月1日
- ⑤設置者 入植者
- ⑥碑名 入植碑
- ⑦碑文（表面） 昭和二十一年十一月一日入植 若林入植記念碑  
昭和六十年十一月一日建立 入植者31名氏名
- ⑧碑文（裏面） 無し
- ⑨現在の状況 若林集会所地内で管理されている。

